

「山形教育」は昭和22年に「新教育」の名称で創刊されて以来、今年で70年目を迎える山形県の教育関係者のための教育情報誌です。本誌は、県教育センターにおいて編集し、年3回（7・11・3月）発行します。毎号、教育にかかわる最新の情報や提言、県内の先生方の工夫をこらした授業実践や教育相談Q&Aなどを掲載しています。

山形県の教育に関心をお持ちの方はぜひご購読ください。

山形教育

*Yamagata
Prefectural
Education
Institute*

374号（7月刊）表紙絵より「花に水」石塚信雄（前県立楯岡特別支援学校校長）

「山形教育」購読申し込みのご案内

- 1 年間購読料 1,500円 年3回（7・11・3月）発行年度途中からの申し込みも可能です。
- 2 申し込み方法 下記にお問い合わせくださるか、右記のWebページ、QRコードよりお申し込みください。

山形県教育センター内 「山形教育」編集事務局
〒994-0021 天童市大字山元字犬倉津2515
TEL 023-654-2155 FAX 023-654-2159

山形県教育センター



くわしくは
Webページを
ごらんください

教育情報誌「山形教育」

検索

<http://www.yamagata-c.ed.jp/教育情報誌「山形教育」/>

平成27年度「山形教育」の内容から



士
心

石崎 信弘氏
(モンテディオ山形監督)
「志」



銭谷 眞美氏 (東京国立博物館長)
「母の愛 教師の愛」

母の愛
教師の愛
銭谷眞美

各界で活躍されている方々から
執筆いただきました！

特別寄稿



あきらめかたを
おしえないで

植松 努

植松 努氏 (株式会社植松電機 専務取締役)
「あきらめかたをおしえないで」

特集

教員としての視野を広げ、
深めるための話題が満載！

374号 「『道徳教育』の展望」

375号 「グローバルに活躍する山形人」

376号 「OJT～これからの職場内研修の在り方～」

シリーズ 山形の教育のこれからを考える 3回シリーズ (7、11、3月)

国や県の施策、県教育センターの研究成果を発信！ 第1回「保護者連携」、第2回「いじめ防止」、第3回「探究型学習」

教育相談Q&A

あなたの悩み
一緒に考えます

- 問題行動を繰り返す生徒への支援の在り方
—生徒の側に立つことで見えてくるもの—
- 教師間の連携を考える
—互いの立場から生徒をとともに育てていく—
- 児童との関係づくりのあり方を考える
—児童の感情や思いの推察を通して—

おもしろ 保育実践 授業実践

なるほど！
なっとく！
やってみよう！

子どもの生き生きとした学びを引き出す工夫・アイデア
満載！幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の
先生たちの数々の実践を紹介します。

平成28年度「山形教育」の特集

各分野の第一人者の方からの提言や、県内の取組みを紹介します。

7月刊(377号) なぜ、いま「アクティブ・ラーニング」なのか

今、アクティブ・ラーニングの視点から、不断の授業改善が求められています。山形県で推進している探究型学習もその考えに基づいています。みなさんと一緒にアクティブ・ラーニングの必要性や重要性について、提言や各校の先生方の実践を通して考えていきます。

11月刊(378号) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の取組みを推進していくことが求められています。働き方を見直し、仕事を効率化してメリハリのある生活を実現することは、教育の場でも大切なことです。よりよい教育活動につながるように、山形におけるワーク・ライフ・バランスについて考えていきます。

3月刊(379号) 校種を越えた連携・接続を考える

校種を越えた連携・接続に起因する問題を解決するために、一人一人の能力・適性に応じた教育を進めていくことの重要性が叫ばれています。県内外の校種を越えた連携・接続の事例を通して、これからの教育制度の在り方について考えていきます。

次年度のシリーズ 第6次山形県教育振興計画の概要

昨年度策定された第6次山形県教育振興計画について理解を深め、これからの山形の教育について考えていきます。